

たばこ火災から大切な命を守るために

■ 防災品を使いましょう。

防災品は、火が接しても容易に着火せず、着火しても延焼拡大を停止する自己消火性を備えた品物のことを言います。

じゅうたん、布団、シーツ等の身の回りの布製品は**防災品**を使いましょう！

防災品ラベルは2種類あります



←防災物品ラベル
↓防災製品ラベル

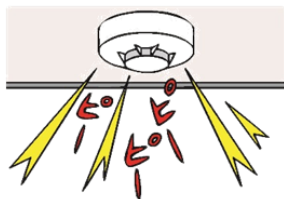


提供：日本防災協会

※ラベルには様々な様式があります。

■ 住宅用火災警報器を設置しましょう。

設置場所は、全ての居室・台所・階段です。火災の煙や熱を感知した警報音に気づき、早い通報や消火により被害を最小限に抑えた事例が多くあります。



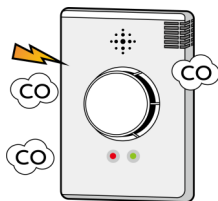
CO機能付き住警器でより安心！

■ たばこの火種の無煙燃焼

たばこによるごく小さな火種は、布団等に落ちるとすぐに燃え広がらずしばらく**無炎燃焼**(炎を出さずに燃え広がる)を続け、**一酸化炭素(CO)**を放出し、燃え広がる前に出火室内や他の部屋にも充満する場合があります。

■ 無色・無臭の一酸化炭素(CO)

一酸化炭素(CO)は無色・無臭で毒性が強い気体です。無煙燃焼が継続して濃度が高まると、一酸化炭素中毒により死に至る危険性があります。



燃焼で発生する一酸化炭素(CO)から、いち早く火災を感知するため、

CO機能付き住宅用火災警報器を設置するとより安心です。

問合せ先

東京消防庁 防災部 防災安全課 電話番号 03-3212-2111 内線4196

令和6年10月発行



STOP!

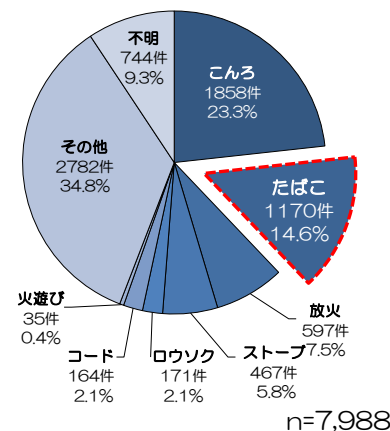
STOP! 住宅火災シリーズ② 火災から大切な命を守ろう

住宅火災で最も多くの死者

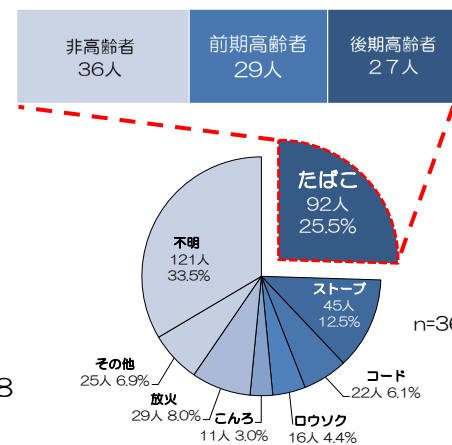
■ 「たばこ」を出火原因とした住宅火災で、最も多くの死者が発生しています。

■ 「たばこ」を出火原因とした住宅火災の死者は、半数以上が65歳以上の高齢者で発生しています。

「たばこ」を出火原因とした
年齢別死者数（令和元年～5年住宅火災）



出火原因別火災件数
(令和元年～5年 住宅火災)



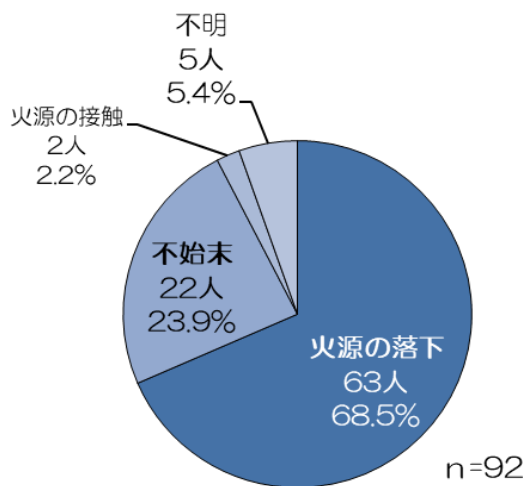
出火原因別死者数
(令和元年～5年 住宅火災)

たばこ火災



東京消防庁

たばこ火災発生原因



たばこ火災発生状況別死者数
(令和元年～5年 住宅火災)

令和元年から5年までの過去5年
間における「たばこ」による住宅火災
の死者92人中63人が「たばこの火
種が落下する」ことで発生した火災
で亡くなっています。



n=92

あなたにも起こりうるたばこ火災

事例①:死者が発生した「たばこ」による住宅火災

共同住宅の居住者(女性・40歳代)がたばこの火
種を灰皿の上で消した後、ごみ箱に捨てたことにより
残っていた火種が中のごみくずに着火し火災となっ
たもの。



事例②:死者が発生した「たばこ」による住宅火災

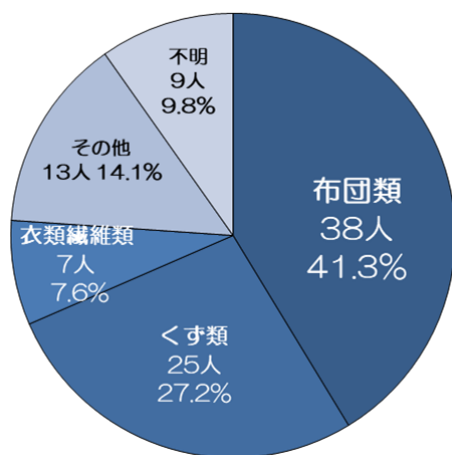
長屋兼共同住宅の居住者(男性・70歳
代)が、在宅酸素吸入器を使用中、寝たばこ
をし、火源が鼻カニューレに落下したことにより
穴が空き、送気されていた高濃度酸素
により火種が拡大し火災となったもの。



在宅酸素療法を行っている方は要注意！

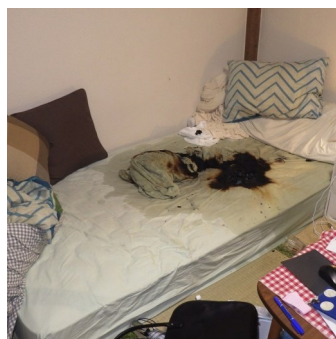
たばこの火源が鼻カニューレに着火
する検証実験の状況

たばこ火災の着火物は何か？



たばこ火災の着火物別死者数
(令和元年～5年 住宅火災)

着火物別の死者数では、布団類、
くず類、衣類繊維類の順で多くな
っています。



寝たばこにより火源が落下し
布団に着火した火災

n=92

たばこ火災を防ぐポイント

- 寝たばこは絶対にしない。
- 吸殻を灰皿やごみ箱にためないようにする。
- 吸殻を捨てるときは、必ず水をかけ完全に消火する。
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する。
- 禁煙、加熱式たばこへの切替も考える。



就寝前や外出前は必ず消す！

吸殻の捨て方に注意しましょう！



万が一の火災で、延焼拡大防止するポイントは裏面をチェック！